

# 海星新聞

平成29年11月号

平成29年10月23日(月)発行

海星学院(京都府八幡市八幡柿ヶ谷13-1)・ホットライン:0120-586109  
 本校(982-2381)・泉校(971-0804)・吉井校(971-1667)・久御山校(43-6321)

## 11月から2月までの予定

<b>10/29(日)</b>	<b>入試のすべてがわかる第3回高校入試説明会。午前中、松花堂で。</b>
10月分の授業日	10/2(月)~11/3(金)の5週間を10月分としてご請求。
11/3(金・祝)	祝日(文化の日)ですが、通常通り行います。
<b>11/11(土)</b>	<b>中1・中2・中3塾モギ。中3午後実施、中1中2夜実施。</b>
11/23(木・祝)	祝日(勤労感謝の日)ですが、通常通り行います。
11月分の授業日	11/6(月)~12/1(金)の4週間を11月分としてご請求。
12/25(月)~29(金)	個別スタ冬期講習期間。案内書は後日配布。
12月分授業日(個別スタ)	(個別・スタ)12/4(月)~12/29(金)の4週間を12月分としてご請求。
12月分の授業日(クラス)	(クラス)12/4(月)~12/22(金)の3週間+冬期集中授業。
12/23(土)~29(金)	中学生クラス冬期(前期)。24(日)は中1中2休み。
1/4(木)~1/6(土)	中学生クラス冬期集中授業(後期)
1/13(土)	中3土曜特訓再開日。
1/13(土)	センター試験・中学入試スタート。
2/18(日)	新中3進級説明会。午前中。松花堂で。

※ /10月…(月)→2・9(祝日ですがあります)・16・23・30の5週、(火)→3・10・17・24・31の5週、(水)→4・11・18・25・1の5週、(木)→5・12・19・26・2の5週、(金)6・13・20・27・3(祝日ですがあります)の5週です。/11月…(月)→6・13・20・27の4週、(火)→7・14・21・28の4週、(水)→8・15・22・29の4週、(木)→9・16・23(祝日ですがあります)・30の4週、(金)→10・17・24・1の4週です。/12月(中学生クラス)(月)→4・11・18+冬期、(火)→5・12・19+冬期、(水)→6・13・20+冬期、(木)→7・14・21+冬期、(金)→8・15・22+冬期。/12月(スタ・個別)→4・11・18+25の4週、(火)→5・12・19+26の4週、(水)→6・13・20・27の4週、(木)→7・14・21・28の4週、(金)→8・15・22・29の4週です。1月(中学生クラス・個別・スタ)→(月)8(祝日ですがあります)・15・22・29の4週、(火)9・16・23・30の4週、(水)10・17・24・31の4週、(木)11・18・25・1の4週、(金)12・19・26・2の4週です。/2月→(月)5・12・19・26の4週、(火)6・13・20・27の4週、(水)7・14・21・28の4週、(木)8・15・22・1の4週、(金)9・16・23・2の4週です。

### ※今回、以下の物をお渡ししました

- 個別指導(小学生)……………請求書・海星新聞・個別指導報告書。
- スタディールーム……………請求書・海星新聞・スタディー報告書。
- 中1(個別)……………請求書・海星新聞・個別指導報告書。
- 中1(クラス)……………請求書・海星新聞。
- 中2(個別)……………請求書・海星新聞・個別指導報告書。
- 中2(クラス)……………請求書・海星新聞。



- 中3(個別)……………請求書・海星新聞・個別指導報告書。
- 中3(クラス)……………請求書・海星新聞。
- 高1~高3……………請求書・海星新聞・個別指導報告書。
- パソコン教室……………請求書・海星新聞。

## 安心メールポイントカード ポイント廃止のお知らせ

平素は当学院の運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。誠に勝手ではございますが、平成29年7月31日をもって、安心メールカードのポイント付与を終了させていただきました。登下校の安心メールに付きましては、引き続きご提供させていただきますのでご安心くださいませ。

ポイント賞品交換等につきましてご案内致します。御不明な点がございましたら、通塾校へお気軽にお問合せください。

- ・ 12月31日(日)……ポイント交換受付終了。以後のポイント交換は一切受付できません。

<ポイントについて>

- 2ポイントを1円として、授業料から割り引くことができます。2ポイントから使用可能。10日締めとなります。
- 2ポイントを1点として、学習シールと交換できます。2ポイントから使用可能。
- 300ポイント→お菓子セット150円分と交換可能。
- 600ポイント→お菓子セット300円分と交換可能。
- 1000ポイント以上→今までと同様の交換。

となります。通塾校にてポイントカードを提出。提出時に何と交換したいのかお申し出ください。(注意)申し出のない方は、交換致しません(塾からお伝えしません)ので十分にご注意下さいませ。

## ポイントで図書カード

1000ポイントがたまると図書カード500円分1枚を進呈いたします。2000ポイントは1000円分(2枚)、3000ポイントで1500円分(3枚)となります。グルメセットは従来通りです。

## 授業料の自動引落とし

新入生の方、及び口座引落手続きがお済みでない方はお読み下さい。

- ① 毎月27日に翌月分を口座振替で支払っていただきます。
- ② 毎月10日までの各種変更届の締切日です。10

日を過ぎますと翌々月で精算されることとなります。

③ 途中退塾される場合は、10日までに申し出ただければ、翌月分は引き落としされません。申し出が11日以降になりますと、翌月分が引き落としされます。**その場合、いかなる理由があっても返金は致しません。くれぐれもご注意下さい。**

## 通塾ストップ(重要)

11月分授業料の口座引落日は10月27日(金)です。引き落としできなかった方は11月15日(水)までに現金にてお支払い下さい。お支払いいただかなかった方は、**翌11月16日(木)以降は通塾ストップ**とさせていただきます。

## 携帯スマホゲーム 塾内では使用禁止!

**塾内(ロビー・廊下・受付を含む)での使用を一切禁止、休憩時間でも使用を禁止です。**

持って来るのは構いませんが、塾内では電源を切るかマナーモードにして、ポケットには入れずカバン等に入れて使わないようにして下さい。

**「発見次第没収→後日保護者同伴親子面談でお返しする」となりますので、十分注意して下さい。よって、没収となった場合、お返しするのは翌日以降となります。ただし、前もって保護者様からの連絡にて許可を得た場合はOKです。**

## 駐車位置にご協力を!

いつもお子様の帰りのお迎えありがとうございます。本校は住宅街に位置している関係上、時間帯に関係なく駐車位置をお守りくださいますようお願い申し上げます。×印の位置(隣家の前)には一時であっても駐車されないようお願い申し上げます。

<本校>

隣家の前には決して駐車されないようお願い致します。



## 忘れ物多発(傘)

年間を通して傘の忘れ物が非常に多く発生しています。これまで半年間は塾で保管し、持ち主が現れなかったら処分するようにして参りましたが、99%持ち主が現れないのが現状です。今後は2週間たっても申し出がない場合は処分させていただきますので十分ご留意下さい。また名前が書いてあればすぐに持ち主のもとへ返却できておりますので、極力(特に傘)名前を書いて下さるようお願い申し上げます。

## 中3土曜特訓!

中3土曜特訓がスタートしました。

98%の中3クラス生が受講しています。毎年、この授業により偏差値が大きく伸びる海星学院の看板講座です。志望校1~2ランクアップ可能です。

**いちばんのポイントは、生徒のリクエストに応じて弱点をつぶしていく講座であることです。また、得点能力を高めるための授業も行います。**いよいよラストスパート!!!! 入試まで突っ走りましょう。

<実施日>毎週土曜日

- 10月.....10/14・10/21・10/28
- 11月.....11/4・11/11・11/18・11/25
- 12月.....12/2・12/9・12/16
- 1月.....1/13・1/20・1/27
- 2月.....2/3・2/17・2/24
- 3月.....3/3

11/11(土)実施。

## 次回の中1・2・3塾モギ

11月度の中3塾内モギは11/11(土)に実施します。教室は当日の掲示に従って下さい。上記の生徒は事情のある場合をのぞき全員受験してください。終了時刻は夜9:55の予定です。

**受験取りやめ届を期限までに提出されなかった方は、受験しなくても11月分で請求させていただきますのでご注意ください。** 提出期限後の受験取りやめはできません。

## 受験生は自習に来よう!

11月は、受験校絞り込み&受験校決定の時期です。効率よくそして集中して勉強できる環境を提供するために海星学院の各教室を開放しています。

下記の時間帯は自由に自習できますので、できるだけ全員参加してください。塾で勉強すれば集中して勉強できますよね。どしどしご利用ください。下記の時間帯以外でも自習できる場合がございます。

<本校>(月)夕方4時~6時半、(火)~(金)は夕方4時~9時40分まで。

<吉井校>使えません。本校に来てください。

<泉校>(月)~(金)の夕方4時~6時半。

<久御山校>(月)~(金)の夕方~6時半。

<長尾校>(月)~(金)の夕方~6時半。

(注意)利用できるのは、静かに勉強できる生徒に限ります。**騒いだりして他の生徒の迷惑行為を行った者は即刻帰ってもらい以後利用させません。**自習終了後は机周辺を元通りに整理し夜の部の生徒たちが気持ちよく教室に入れるように掃除して帰ってください。

## 受験生は熟読して下さい。へ 過去問活用の話

そろそろ受験する高校の過去の入試問題を始めなければなりません。中3クラスではすでに10月より開始しています。塾の授業をおろそかにしてはならないのはもちろんです。これからは入試によく出る最重要課題を特訓していきます。今回はなぜ受験校の過去問題に取り組まなければならないのかを説明します。また赤本に取り組むとなぜ効果があるのかも説明します。

●まず第一に、受験校の入試問題の傾向をつかむ必要があるからです。もちろん昨年、一昨年に出题された問題と同じ問題が出ることはありませんが、入試問題は各学校によってそれぞれはっきりした傾向を持っていることを知ることが大切なのです。学校ごとによく出される単元を知ること、出題の仕方や解答用紙、単位や句読点の扱いなどさまざまな傾向があります。高校入試の社会では世界地理をまったく出さない学校もあります。中学入試では水産業を一度も出題した事のない学校があります。毎年必ず江戸時代を大量に出す学校もあります。大学入試では範囲が非常に広いため、傾向が鮮明になっています。そういう事柄を知っていると知らないのとでは、結果が大きく異なるのは当然です。

●大学入試では、偏差値不足でも傾向に沿った勉強をすることで大逆転合格を勝ち取ることができます。中学高校入試は範囲が狭いため偏差値がすべてです。偏差値通りの結果となります。

●出題傾向に関して、その傾向が大きく変わることもあります。くれぐれも、過去問をやったからといって「この学校はこれだ」と決めつけないようにしてください。しかし公立高校の場合は、原則として傾向は変わりません。なぜなら公立中学校現場が困るからです。

●過去問に取り組む第二の理由は、本番に向けた予行練習になるということです。過去問に取り組むときは、できるだけ本番と同じ時間またはそれ以内で取り組んでください。しかし12月は制限時間を気にする必要はありません。制限時間を守るのは1月になってから大丈夫でしょう。1月末になったら制限時間の5~10分短い時間で取り組む練習が効果的です。なぜなら、入試本番当日の感覚50分が自宅で40~45分に相当するからです。

●時間配分に失敗して最後まで解けないということもあるでしょう。入試問題は大問1からしなければならぬという決まりはありません。簡単な問題一難しい問題の順に解いて下さい。また1点を争う入試では、じっくり時間をかけていい問題と、時間内に解くのは絶対に無理な問題が1、2問あります。そういう問題は捨てることを知ることが大切。このような特徴を知るために過去問への取り組みは非常に大切です。それから100点満点は絶対に取れないように問題は作られていることも知ってください。

●できなかった問題・忘れてしまった問題・勘違いした問題などが入試当日までの課題となります。そういう問題を1問でも少なくしていくのが合格への近道、もっとも効率のよい受験勉強方法です。

●まとめ。過去問題は受験校の傾向をつかむためにやる。できなかった問題をできるようにする。

**第一志望校の過去問は15年分(5年×3回転)をして下さい。併願校は5年分×1回転をして下さい。間違った問題を解説を見てできるようにすることが、効果のある赤本勉強方法です。やって〇×して答えを書き直すだけでは力はつきません。**

## 中3年未年始特訓

12月30・31日と1月2・3日の4日間、中3年未年始特訓を行います。冬期講習とは別に申込み制で実施。時間は午前9時~夕方5時頃まで。

入試に必ず出題される分野に絞り、特効薬がまつた効きめ抜群の特訓授業です。毎年多くの中3が参加します。

何より、ライバルたちが大晦日・お正月で浮かれている時に勉強することは、自分はエライ! 凄いことをしている、俺って凄い! と感じるのだそうです。間違いなく自信につながり、合格点をもぎ取ることが可能

となります。

入試に必ず出題される分野でかつ不得意な生徒が多い分野にしぼって毎日6時間以上の特訓を行います。

「帰るころには、実力アップが肌で感じられた」という感想が非常に多いです。とにかく効果バツグンの講座です。先着順とさせていただきます。詳細につきましては、後日お知らせ致します。

## 中学生対象コラム 塾長・江川コラム

### <塾での面談の意味>

12月です。ついに受験校を決定しなければならない月となりました。

海星学院から塾生と保護者様にお願ひです。



### 学校で最終の3者面談を行う前に塾での面談を済ませて下さい。

中学校での面談を済ませてから塾での面談を申し込まれる方がいらっしゃいますが、それは順番が逆です。中学校は「①実力テストと②内申点」の2つで合否判定を行ないますが、塾は「①実力テスト②内申点③偏差値④高校から直接聞いた情報」をもとに合否判断をおこないます。どちらが信頼度が高いかは、明らかです。

さらに塾での面談では「この学校の場合、入学後どのような学校生活を送ることになるか」「現在の成績でこの学校に入学したら、次の進路先はとなると予想されるか」「君のタイプに合った学校か」など、中学校では到底できない説明をすることができます。

学校の3者面談で受験校を決定した後に塾で面談した場合、中学校で無理だと言われた学校、実は合格できる学校だったということがよくあります。変更するのは非常に大変なことになります。

担任に「受けてみないとわからないから、チャンスがあるなら受けてみたら?」と言ってもらえたらうれしいものです。「合格できるかもしれない」という気持ちになります。塾では「無理なもの」ははっきり「無理です」と伝えます。

受かるわけがないのに担任に「受験は水物だから受けてみないとわからない」と言われ受験することになって、我々は「あ~~、絶対無理なのに・・・」という生徒が毎年必ずいます(合格できた生徒はいません)。逆にもっといい高校に合格できたのに・・・と思う生徒もいます。

<おわり>